

《実習科目 実習科目》

科目名	保育実習指導Ⅲ				
担当者氏名	昇 慶一、山田 義則				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 実習-2 豊かな人間性の醸成 ◎ 実習-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

保育実習Ⅰの施設実習体験を振り返るワークを通して、各自の課題を見出すとともに、自己覚知を促す。また、保育実習Ⅲに向けて、保育実習Ⅰの成果と課題を踏まえた、より発展的な実習計画を練るとともに、実習記録・実習関係書類の書き方や実習の心構えについても、講義及び演習を通して指導する。講義中に指示する提出物については、提出期限を厳守すること。

《授業の到達目標》

1. 保育実習Ⅰの施設実習体験を確認し、児童福祉施設の役割や機能について理解を深める。
2. 家庭と地域の生活実態にふれて、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養う。
3. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。

《成績評価の方法》

実習評価 60%、提出物及び授業の受講態度 40%

《テキスト》

「保育実習の手引き（保育所・施設）」

《参考図書》

参考書：社会的養護Ⅰ及び社会的養護Ⅱで使用した教科書・参考書  
 その他、適宜資料を配布する

《授業時間外学習》

1. 子どもに関わるニュース・新聞記事に、日頃から関心を持つこと。
2. 保育者としてふさわしい言動や記録における適切な文章表現を日常生活の中で意識するとともに、各自の家庭において炊事・洗濯・掃除等の家事技術を習得するよう努めること。
3. 授業での配布資料は、保育実習Ⅲにおいて必要となるものであり、整理保管に注意すること。

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	保育実習Ⅲのねらい、年間スケジュール及び実習に関する手続き、実習に向けた心構えを理解する
2	保育実習Ⅰの振り返り（1）	保育実習Ⅰの学びを言語化するとともに、他の受講生の体験からも学ぶ
3	保育実習Ⅰの振り返り（2）	自己分析・自己覚知を通して、保育実習Ⅲにおける自己の成長課題を明確にする
4	児童福祉施設の形態と支援過程	様々な児童福祉施設の実施形態と、子どもの保護・施設入所・退所後の実利に至るまでの支援過程を理解する
5	実習施設の理解	実習施設の目的、職員等について調査研究する
6	子ども理解（1）	実習先施設についての基本をもとに、実習課題を明確にする
7	子ども理解（2）	援助計画と自立支援計画を理解する
8	子ども理解（3）	自立支援計画の策定練習を通して施設養護の過程の段階を理解する
9	実習評価の理解	実習の評価項目を考察する
10	電話のマナーと実習日誌（1）	実習先への電話のかけ方を実践練習を通して学ぶ、実習日誌の書き方の基本を確認する
11	実習日誌（2）	実習日誌の書き方及び留意点を確認し、例題をもとに日課面の書き方を演習する
12	実習日誌（3）	実習日誌の書き方及び留意点を確認し、例題をもとに観察・考察面の書き方を演習する
13	実習日誌（4）	グループワークを通して、実習日誌の書き方の理解を深める
14	実習生カードの作成	自分の特性や経験を振り返りつつ、実習生カードを作成する
15	まとめと実習に向けて	これまでの実習前指導を振り返るとともに、実際の実習までの流れを再認識する